

企業防災セミナーご案内

～水災害時の被害最小化に向けて～

【目的】

近年、我が国では気候変動等の影響で計画規模を超える降雨が発生し水災害が頻発しています。これらの水災害をハード整備だけで解消するのは多額の費用と長い期間を要するため難しい状況です。ハード整備の推進とともにソフトを整備し、水災害の被害軽減を図る必要があります。

企業防災のために整備すべきソフトは、風水害などによる災害被害を最小化する「防災」の観点からアプローチする計画と、災害時の企業活動の維持または早期回復を目指す「事業継続」の観点からのアプローチする計画の2つがあります。

本セミナーでは、現在、国が積極的に推進している時間軸による災害時行動計画（タイムライン）による防災計画と、事業継続計画（BCP）作成のご紹介を行います。

【対象者】

荒川の氾濫域市区に所在する企業の皆様 及び 水害リスクを有する施設を管理する自治体

【日時・場所】

平成 27 年 3 月 10 日 13 時 45 分～16 時 30 分

（受付開始 13 時 20 分）

お茶の水ホテルジュラク 2 F コンベンションホール『孔雀』

東京都千代田区神田淡路町 2-9

<http://www.hotel-juraku.co.jp/ocha/access/>

最寄駅：JR「御茶ノ水・秋葉原」、都営地下鉄「小川町」、
東京メトロ「新御茶ノ水・淡路町」、つくばエクスプレス「秋葉原」



【主催】

国土交通省荒川下流河川事務所

【後援】

東京商工会議所

【内容】

- ①13:45～13:50 開会のご挨拶 国土交通省 荒川下流河川事務所長 里村 真吾
- ②13:50～14:20 地形から見た洪水リスク NPO法人日本水フォーラム 事務局長 竹村 公太郎
- ③14:20～14:50 首都圏大規模水害対策について
内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（調査・企画担当）付参事官補佐 藤田 士郎
- ④14:50～15:20 災害リスクを認識し、身の丈にあったBCPで会社を守る
「小規模企業でもできる身の丈BCP」 事業継続研究所 代表 京盛 眞信
～ 休憩（10分）～
- ⑤15:30～16:00 タイムライン防災で命を守る、経済被害を最小化する
CeMI 環境・防災研究所 副所長 松尾 一郎
- ⑥16:00～16:30 荒川下流河川事務所の取組み
国土交通省 荒川下流河川事務所 水防・品質確保室長 丸山 日登志

【参加費】無料 【定員】100名（先着順）※定員に空きがあれば当日の受付も可能です

【申し込み方法】①ご所属、②ご住所、③部署・役職、④お名前、⑤電話・FAX番号、⑥メールアドレスを bousai_seminar@waterforum.jp までお知らせください（締切：平成27年3月9日）

【お問い合わせ先】（事務局）特定非営利活動法人日本水フォーラム Tel. 03-5645-8040 担当：木暮、木村、黒岩